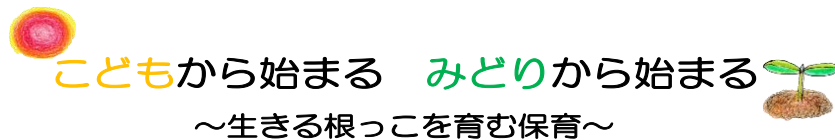


幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園



「まこと先生だより 第3号」

1 参観日（保育参観・保護者の会総会）

4月29日は、保育参観と保護者の会総会へのご出席ありがとうございました。残念ながらコロナ等の関係で以上児だけの保育参観となりましたが、多くの保護者の皆様に出席いただきました。保育参観では、各クラスの朝の会から実際の保育の様子を参観していただきました。保護者の会総会は、ホールにて円卓での総会を開催し、旧役員と新役員との連絡等をしっかりと聞いていただきました。旧役員の皆様本当にご苦労様でした。また、新役員の皆様どうぞよろしく願います。

保育参観では、昨年度末に購入しました知育玩具＝おもちゃ（ヨーロッパ製）を使って、各クラスで子どもたちが実際に遊ぶ様子を参観していただきました。保護者の皆様の中には知育玩具で遊ぶ子どもたちを温かく見守られたり、一緒に活動していただきました。参観の時間は短い時間ではありましたが指導した教員とともに保護者にも名様方も有意義な時間を共有していただいたのではないかと思います。

2 知育玩具（おもちゃ）の導入

今回購入しましたおもちゃは、赤ちゃんのおもちゃをはじめとして、何よりも子どもにとって「安全」であることを基準としています。子どもが舐めても、口に入れても安全であるなど、厳しい安全基準をクリアしたおもちゃだけを購入しました。

<感性豊かな遊び>

乳児期、幼児期は、感性と人間性、知性の基礎が形成される時期。美しく正確な音階と音色、自然で調和のある色彩と色合い。豊かに五感を刺激するおもちゃを選んでいきます。

<教育的なおもちゃ>

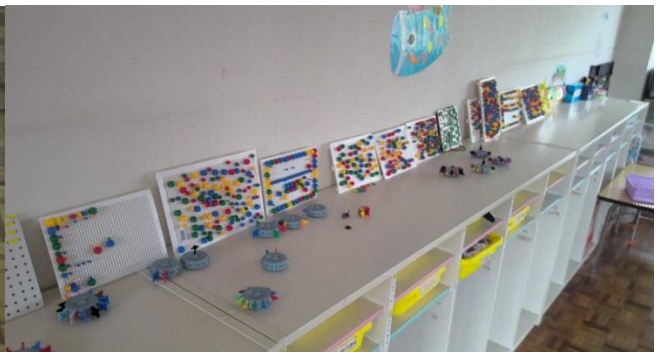
遊びとは、『子どもが自ら、主体的に自分を幸せにし、社会に幸せをもたらす力（=学ぶ力、生きる力）』すなわち『非認知能力』を身につける方法です。幼児期、学童期から青年期にかけては感性と人間性、知性に加え、社会性、主体性が課題となります。よいおもちゃを有効に与えることで、一部の能力に偏ることなく、それら生きていくうえで、必要な力をバランスよく育て、また同世代、親子で育てあっていくことができます。

<流行に流されず、世代を超えるおもちゃ>

流行に追随するのではなく、『末永く』遊べるおもちゃを選んでいきます。親から子、

孫へと引き継がれる愛情のように、おもちゃも代々、家庭の文化、愛情の文化として伝承してもらいたいと願っています。

3 保育参観等の様子



上記の写真は、保育室背面の掲示（手作りのこいのぼり等）と子どもたちが作成したおもちゃの掲示の様子です。

また、参観時間に実際に子どもたちがおもちゃで遊ぶ様子です。

各クラスでは、今後とも定期的におもちゃを使用して、子どもたちの豊かな感性を育てていきます。保育参観と保護者の会総会へのご出席ありがとうございました。